

- 語句の説明
- ・一般会計：…村の運営の基本的な経費を計上する会計
 - ・特別会計：…特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計
 - ・村税：…村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税
 - ・地方交付税：…地方公共団体が等しくサービスを提供することができるよう、一定の基準により国から配分されたお金
 - ・村債：…村が行う公共事業などの財源として、国などから借りたお金
 - ・国庫支出金：…村が実施する特定の事業に対し、国から交付されたお金
 - ・地方譲与税：…国税として徴収された後、村に譲与されたお金
 - ・義務的経費：…毎年必ず負担しなければならない経費で職員経費や福祉、医療にかかもの、村債の返済など
 - ・投資的経費：…道路整備や備品の購入、災害復旧等のハード整備に要する経費
 - ・積立金：…村の貯金である基金への積み立て
 - ・繰出金：…特別会計の事務事業を補助するため一般会計から特別会計に支出されたお金

3 借入金

特別会計は一般会計と区別し、特定の収入と支出で経理を行う会計です。

(単位：千円)

項目	借入額
財政融資資金	3,598,682
旧郵政公社資金	94,673
地方公共団体金融機構	150,486
市中銀行	93,702
その他金融機関	85,099
共済等	15,660
合計	4,038,302

4 特別会計

特別会計は一般会計と区別し、特定の収入と支出で経理を行う会計です。

(単位：千円)

特別会計の名称	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	544,275	527,307
簡易水道事業	176,624	175,410
特定環境保全公共下水道事業	155,689	155,012
へき地診療所	210,148	208,163
介護保険	431,730	421,454
浄化槽整備事業	26,206	25,866
後期高齢者医療	33,801	33,674
合計	1,578,473	1,546,886

2-2 歳出の経費区分

義務的経費の構成比が平成27年度に比べ、2.3%増加しました。沼の台保育所や防災拠点施設整備事業、平成25年度の災害復旧事業の元金償還が開始したため、公債費の割合が増加しています。投資的経費においては、園芸産地パワーアップ整備事業や村道清水合海線散水消雪更新事業により、普通建設事業が2億982万7千円の増、構成比は6.0%の増となっています。今後とも適切な行政改革や公債費の管理を行い、多様な事業展開ができるような財政運営を図っていきます。

(単位：千円, %)

区分	決算額	28年度 構成比	27年度 構成比
義務的経費	1,331,134	35.2	32.9
人件費	618,807	16.4	16.1
扶助費	300,704	7.9	7.3
公債費	411,623	10.9	9.5
投資的経費	823,578	21.8	14.6
普通建設事業	778,910	20.6	14.6
災害復旧事業	44,668	1.2	0
その他の経費	1,626,565	43.0	52.5
物件費	514,230	13.6	14.8
補助費等	369,405	9.8	11.0
積立金	126,007	3.3	12.2
繰出金	443,176	11.7	9.9
維持補修費	151,747	4.0	3.9
投資及び出資金・貸付金	22,000	0.6	0.7
合計	3,781,277	100.0	100.0

～数字でみる昨年度の大蔵村～

平成28年度の決算を報告します！

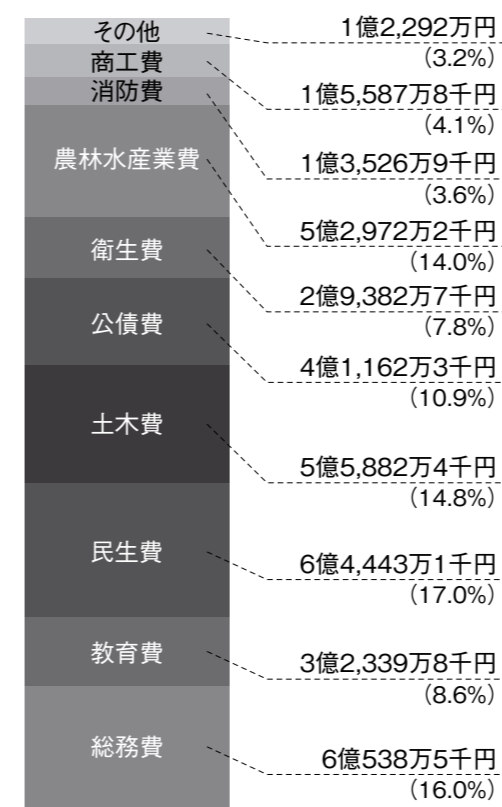
平成28年度決算が9月定例議会で承認されましたので、お知らせします。一般会計の実質収支は9,410万6千円の黒字となりました。地方交付税は、歳入の51.7%を占める20億466万5千円となっており、地方交付税に頼らざるを得ない状況にあるため、今後も堅実な財政運営に取り組んでいきます。

2-1 一般会計 歳出

平成28年度の歳出総額は、平成27年度に比べ1億719万7千円の減額となりました。

総務費においては、地方創生関係交付金や、各種基金への積立金の減により3億5,268万円の減となっています。農林水産業費においては、選果施設等の補助を実施した園芸産地パワーアップ整備事業や農産物加工施設にかかる用地造成工事や設計業務等により2億974万9千円の増となっています。土木費においては、村道大坪福田工業団地線防風雪柵設置工事が平成27年度に完了にしたことに伴い9,253万7千円の減となっています。

歳出合計 37億8,127万7千円

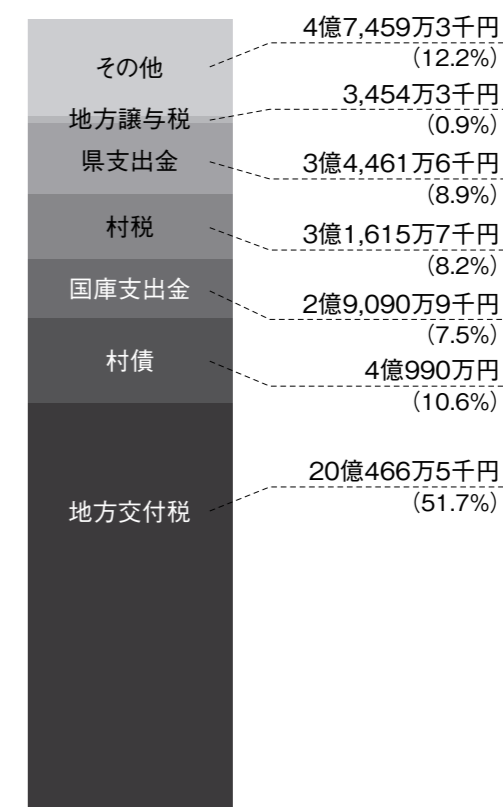


1 一般会計 歳入

平成28年度の歳入総額は、平成27年度に比べ8,873万5千円の減額となりました。

歳入の約半分を占める地方交付税のうち、普通交付税は前年度より4,335万7千円の減、特別交付税は3,192万4千円の増となりました。村税は、昨年度より514万6千円の増となっています。国庫支出金は地方創生関係交付金の減により4,793万1千円の減となっています。都道府県支出金は、園芸産地パワーアップ整備事業費補助金等により、8,888万7千円の増となっています。また、地方債においては、臨時財政対策債の減により2,220万円の減となっています。

歳入合計 38億7,538万3千円



7 健全化判断比率等

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、毎年度実質的な赤字や将来負担などにかかる指標と特別会計ごとの資金不足化率を議会に報告し、公表することとされています。財政状況を統一的な指標で明らかにすることで、財政危機の早期発見と健全化を促すため、村の財政状況をお知らせします。

村の財政についてはきわめて健全という結果になっています。

■健全化判断比率 (単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大蔵村(前年度)	—(—)	—(—)	7.4(7.1)	—(—)
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

※「—」は実質赤字比率や連結実質赤字比率がないこと、将来負担比率がマイナスであることを表しています。

(1) 実質赤字比率

一般会計等に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で表しています。実施収支は黒字で、赤字は生じておらず、安心できる状況です。

(2) 連結実質赤字比率

全会計に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で表しています。資金不足はなく、安心できる状況です。

(3) 実質公債費比率

借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表しています。

(4) 将来負担比率

借入金など現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表しています。

■資金不足比率

特別会計ごとの資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを表しています。大蔵村では全ての特別会計で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業(前年度)	—(—)	20.0%
特定環境保全公共下水道事業(前年度)	—(—)	
浄化槽整備事業(前年度)	—(—)	

※すべての会計で資金不足比率がないため、「—(該当なし)」で表示しています。

5 基金の現在高

平成28年度末の基金残高は平成27年度に比べ、3億1,259万9千円の増となっています。財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てている基金です。

(単位：千円)

基金の名称	平成28年度末	平成27年度末
財政調整基金	887,118	986,818
減債基金	398,254	397,659
ふるさと創生基金	80,000	80,000
地域福祉基金	128,878	128,878
地域振興基金	17,343	17,339
ふるさと活性化事業基金	150,260	155,407
公共施設等整備振興基金	1,288,616	1,189,378
ふるさと農村地域活性化基金	22,222	22,217
ふるさと大蔵村応援基金	5,704	4,722
国分辰夫教育振興基金	62,225	62,210
国分忠之助教育振興基金	33,547	33,542
後藤榮教育振興基金	36,976	36,970
大蔵村再生可能エネルギー導入促進事業基金	100,075	100,000
(株)カドワキ教育振興基金	6,303	6,303
大蔵村畜産産業振興家畜導入事業基金	10,011	10,009
土地開発基金	68,596	68,585
国民健康保険給付基金	53,094	19,614
介護保険介護給付基金	18,301	18,295
合計	3,367,523	3,337,946

6 活性化施設の決算

肘折いでゆ館/カルデラ温泉館 (単位：円)

1 収入の部	92,638,034
・いでゆ館売上高	8,980,666
・カルデラ温泉館売上高	7,401,715
・受託管理収入	53,854,400
・その他(食堂売上ほか)	22,401,253
2 支出の部	86,233,422
・人件費	30,980,837
・売上原価	10,558,529
・水道光熱費	10,702,297
・施設管理費	1,656,596
・その他	32,335,163
3 決算額(経常利益)	6,404,612